



おかやま環境ネットワーク

NO.74
2014.3

NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉瀬町1-7-7
TEL/FAX 086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama.coop
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

第11回 おかやまホタルフォーラム 開催報告

県内でホタルの保護、復活、再生をめざし活動している団体の報告や美作市「ほたる条例」の制定に関する情報提供をとおり、自然環境保全活動の交流をすすめました。また、地元「柵原ホタルを守る会」が保全に取り組む現地も視察しました。

- ◆日 時：11月9日（土）10時～12時
現地見学：13時～13時30分
- ◆会 場：南和気荘（久米郡美咲町藤田上）
現地見学：美咲町内甲和気川、乙和気川
- ◆参加者：64名
- ◆主 催：公益財団法人おかやま環境ネットワーク、柵原ホタルを守る会、生活協同組合おかやまコープ美作エリア委員会
- ◆内 容
 - ①来賓挨拶：定本一友さん・美咲町町長
 - ②主催者挨拶：青山勳・公益財団法人おかやま環境ネットワーク代表理事
 - ③取組報告①：大山川を守る会・難波敏範さん「大山川を守る会の取り組み」
 - ④情報提供：有本直紀さん・美作市田園観光部 商工観光課「美作市ほたる条例」について
 - ⑤取組報告②：柵原ホタルを守る会・畝本和志さん「ホタルは自然からのおくりもの」
 - ⑥質疑応答
・会場内で各団体取組紹介パネル・写真展示
 - ⑦昼食交流後、現地視察：甲和気川・乙和気川



報告いただいた皆様

【参加者アンケートより】

- ・地元で熱心に取り組まれている様子をお聞きして、子どもたちに素晴らしい環境や故里の風景を残してやりたいという温かい心からの自発的活動に感動しました。地元の子供たちはこのような大人に守られ育てられていることに誇らしく思えました。
- ・参加者皆さん大変熱心です。畝本さんの生息環境総合指数表は大変素晴らしいもので、早速利用させて頂き、評価を検討します。現地見学の場所は自然豊かで落ち着いた雰囲気、何度も足を運びたいところです。他の2ヶ所もこのような場所だと想像ができ、訪ねてみたいと思っております。天気にも恵まれて楽しい感動の一日でした。ありがとうございました。
- ・ホタルのある風景がとても素敵だということ、ホタルがいることで環境を考えるきっかけができるということなど、共感する事がたくさんありました。普段の暮らしの中で活動されている皆さんの役に立てることがあればいいなと思います。
- ・事は起こさないと前に進みません。一人では何事もできません。地域のこともみんな力で合わせていく基本が大切だと改めて思いました。
- ・今日はホタルを守ってくださっている人々の熱意に感激いたしました。



会場の様子

『市民のための環境講座』

第7回『岡山県下の水環境の現状を知る』

11月30日に岡山理科大学理学部教授・野上祐作氏を講師に開催し、20名が参加されました。



野上 祐作 氏

岡山県の河川、児島湖、備讃瀬戸の水環境について、岡山県の水質測定結果を中心に、そのデータを用いて自分が住んでいる地域の水環境の現状を知る方法などについての解説がありました。

大切なのは、その結果よりも私たちが考えるために様々なデータの入手方法をマスターすることが重要です。インターネットが日常生活の中に取り込まれる現在、風評に惑わされないように、自分自身で観測データを取り出し、解析し納得するという作業が大切です。国や地方自治体がホームページで提供している情報は、私たちの支払う税金でサービスされているものです。大いに活用しましょうとのことがありました。

第8回『生物多様性の意味について』

12月14日に岡山県立大学名誉教授・伊藤國彦氏を講師に開催し、21名が参加されました。

伊藤先生の独自調査によると、岡山県下には現在4,500種ほどの昆虫が生息しており、ここ20～30年で種も数も4割程度減少しているのではないかとのことでした。

生物がこのまま減ってしまったとき何が起き、どのようになってしまうのか、正確には誰もわかりませんが、身近な自然がどうなっているのか感じてもらいたいし、現状については一人でも多くの方に知ってもらいたいです。

他の生き物と関わりのない生き物はおらず、現

状を知った上で、生物多様性の危機が本当にあるのかどうか、皆さん自身で考えてもらいたいとお話がありました。



伊藤 國彦 氏

第9回『人間活動が地球に与える影響』

1月25日に元岡山大学准教授・白井浩子氏を講師に開催し、18名が参加されました。



白井 浩子 氏

人間は生態系の一部であり、人間の活動のすべては、生態系という自然に依存します。

私たちは地球1個分の範囲で暮らすことが不可欠です。食物をはじめ、生存に必要な衣食住に必要なものの供給も、廃棄物の分解も、すべて究極的には自然（生態系）に依存します。人間は、生態系の中でしか生存を続けられません。

大量生産・大量消費・大量廃棄の政策を転換し、開発は環境を考慮すべきです。人間活動量をエコロジカル・フットプリントといい、その意味や意義についての解説がありました。

『第五回おかやま環境シンポジウム』

2月1日(土)「農・環境・地域づくり」をテーマにいくつかの先進事例を通して、持続可能な地域とは何か、それを実現するため、異なるセクターの連携や、都市部と農村の交流などについて考えることを目的に開催し、52名が参加されました。

①基調報告「未来につなぐ農と食」岸田芳朗・岡山商科大学経営学部教授



岸田 芳朗氏

人々が安心して暮らすために必要な3つのつながり、1. 人と人とのつながり、2. 人と自然とのつながり、3. 健康な食を通じた体と心のつながりを再認識し日常生活をおくることの大切さや、現在の農と食の到達点、日本・世界の到達点、その動向が環境に与えている影響などのお話がありました。

②報告「草を刈って40年」赤木歳通・無農薬有機肥料栽培米「菜々つ子朝日」生産農家



赤木 歳通氏

有機稲作は環境への配慮から始め、有機稲作は経済の論理で取り組んではならないことや、農薬散布不要の有機稲作の実践や、環境破壊の防止、食糧の安全、生命の尊厳という「私の農業憲法」のお話がありました。

③報告「都市との交流で『苦農』から『楽農』へ“棚田守り隊で棚田景観の再生と維持”」西河明夫・北庄中央棚田天然米生産組合長

棚田を生産の場として維持する為の3つのポイントとして、1. 地域の活性化、2. 農産物のブラン

ド化と販路確保、3. 労働力の確保と、活動団体との様々な関係や年間事業のお話がありました。



西河 明夫氏

④報告「おかやまコープの地産地消・耕畜連携等による食料自給率向上の取り組み」星島康男・生活協同組合おかやまコープ組織本部職員



星島 康男氏

かやまコープの重点商品運動、1. 地産地消の推進、2. 循環型農業の応援、3. 食料自給率向上の取り組み紹介や、コープ産直こめたまごなどの重点商品や、商品を利用した基金、生産者との各種交流などのお話がありました。

⑤参加者感想

- ・久米南町の取組に情熱を感じ、地域と外部の人が共に“楽しめる”仕組みに感動した。
- ・赤木さんの“環境”に“食”への思いに見習うところがある。
- ・コープがこれほど地産地消・市民交流を考えているとは知りませんでした。
- ・有機農業についていろいろ聞くことができ、いろいろなヒントをもらうことができ良かったです。
- ・地元の農業とつながることの大切さを改めて深く認識しました。いろいろな方が地域で頑張っておられるお話を直接聞いたのは嬉しかった。
- ・「体感・実感・共感」の輪が広がるといいですね。

シンポジウム『これからの里海づくりを考える in 岡山』 ～里山・里海・市民の視点から～

人の手を適度に加えて保たれる豊かな海「里海」づくりをテーマに、NPO 法人里海づくり研究会 議などと共催で11月6日シンポジウムを開催し、91名が参加されました。

研究者や活動団体、生協、漁協、行政関係者たちが講演や討論し、瀬戸内海を美しく多様な生物がすむ海にするため、山、川、海の連携の大切さを確認し合いました。

はじめに、NPO 法人里海づくり研究会 議理事長・奥田節夫氏より、開会の挨拶と趣旨説明がありました。



会場の様子

次に、里海という言葉を提唱した、九州大学名誉教授・柳哲雄氏による「市民のための里海創生論」の基調講演がありました。瀬戸内海で水質悪化の原因として規制された栄養塩の減少と同時に漁獲量も減っているデータを示し、干潟や藻場を再生し、川から流れる栄養が、多様なルートで循環できるようにする必要があり、それぞれの立場から手をかけて再生していく必要があると指摘されました。



柳 哲雄 氏

その後、旭川源流部にあたる新庄村の笹野寛村長から、川を通じて海に栄養をもたらす森林を生

かす取り組みの紹介とともに、水源保全のための条例を制定する考えも述べられました。



笹野 寛 氏

生活協同組合おかやまコープの宮本紀子全体理事は、商品利用を通じて支援をしている「もずく基金」や、アマモ再生の取り組みやアマモの恵みDVDを小学校へ寄贈したことなどを紹介し、体験をもとに多くの人に海に関心をもってもらうことが重要と強調されました。

最後に、これからの里海づくりがさらに推進されることを期待し、広島大学名誉教授・松田治氏をコーディネーターに講演・報告者に加え、日生町漁業協同組合専務理事・天倉辰己氏、香川県環境森林部環境管理課長・今雪良智氏、NPO 法人環境創生研究フォーラム理事長・小林悦夫氏、NPO 法人瀬戸内里海振興会理事長・山下江氏がパネラーに、会場参加型のパネルディスカッションがあり、活発な意見交換が行われ、人々の海への関心を高めるとともに、人が積極的に手をかけた「里海」として再生していく必要性が強調されたシンポジウムとなりました。



パネルディスカッションの様子

生活協同組合おかやまコープ倉敷エリア委員会

「瀬戸内の海を知ろう～漁業を通して～」

1. 事業の目的

地元の身近な海である「瀬戸内海」に目を向け、海の現状や将来のあり方を、「環境」「漁業」等の視点から私たちの暮らしとの関わりを親子で学ぶとともに、身近な生活や環境に関心を持ち、環境にやさしい暮らし方の実践をすすめることをめざしました。

2. 主な活動

○ 4月4日「船にのってみんなで知ろう」参加人数 49人

瀬戸内沿岸の漁法である「定置網漁」を漁船に乗船し、瀬戸内で獲れる魚種や漁獲の状況を漁師の方からお聞きすると共に、定置網漁や底引き網漁で回収される「海ごみ」の実態を学び、自らの生活の見直しや環境への配慮、食べ物への影響等について学びました。

また、魚料理の体験、試食を通して海の恵みに感謝し、持続可能な環境の大切さを学びました。

○ 8月29日「みんなで探そう海の生き物」参加人数 24人



「船にのってみんなで知ろう」

児島通生海岸にて、海の生き物観察を中心に、生き物に必要な環境や海ゴミの状況学びました。

岡山県水産課や大学の先生等海洋生物の専門家の説明もあり、

海の生き物の種類や生態、必要な環境についてしっかり学ぶことができました。また、海ごみなど環境側面だけでなく、潮位や潮の干満など海とわたしたちの生活の結びつきを考える機会となりました。



「みんなで探そう海の生き物」

3. この活動の成果

テーマを身近な「海」としたこと、フィールドを「玉島」「児島」と地元としたこと、参加対象を「親子」としたこと、共通のキーワードを「海ごみ」としたことから、多くの親子の参加となりました。

「海ごみ」に関連して、「海ごみ」の発生源の多くは、ごみの種類からの推測として陸地で暮らす参加者を含む地域住民であることの説明を受け、ごみを安易に投棄しない、発生させない等の暮らしの見直しに気づくことができました。

また、海ごみの処理として魚網にかかるごみは処理費用との関係もあり、回収でなく大半を「そのまま投棄」していることの説明があり、そのことが海洋汚染や海洋資源、漁獲など、わたしたちの環境だけでなく食生活にも関係していくことへの理解が深まりました。

「瀬戸内海の魚」を調理し、試食することで「海の恵み」に感謝するとともに、漁業資源の持続可

能な環境作りや漁業の実情への関心も高まりました。

海は、「気候」「資源」「生活」などわたしたちの暮らしと密接なつながりをもっていることが理解でき、海を守り、海と共存していくことの必要性を強く感じることができました。そのためにもわたしたちに何ができるのかを常に問い続け、できることから行動していくことや行動に参加する人の輪を広げていくことが重要であることが理解できました。

4. 今後の計画・展望について

今後も今回の助成事業をきっかけに、地球的規模での持続可能な社会の実現を視野に入れつつ、生活の身近な環境問題に目を向け、誰もができる環境にやさしい暮らし方の実践を広げていきたいと思ひます。

＜参加者の感想から＞

海の生き物の豊かさ、なぜごみを捨てる人がいるのか、いろいろ勉強になりました。／海ごみ学習は、大人も楽しく勉強になりました。行動を見直すきっかけになりました。／わたしたち人間のポイ捨てが、海ごみを誤って魚たちが食べて死んでしまったり、魚のすみよい環境を破壊していることが理解でき、今後に繋がりました。／まだまだ自然の中にも生き物が多くいることを知り、環境についても考えなくてはいいなと思ひました。／海岸の山や干潟に大きなタイヤや洗濯機、たくさんのペットボトルやナイロン袋など今まで学習してきたたくさんの海ごみを実際に目にして、とてもいやな思ひも感じました。

公益財団法人おかやま環境ネットワーク（岡山つながる・ひろがるESD事業）

2014年度『市民のための環境講座』

	日程	テーマ・概要	講師
1	6/21(土) 10時	加速する地球温暖化と人類の未来～IPCC第5次報告書の警告～ ※認定特定非営利活動法人 おかやまエネルギーの未来を考える会・協賛	NPO法人CASA専務理事 早川光俊氏
2	9/6(土) 13時	環境問題を捉える視点 ～ワークショップ～ 環境問題の解決が難しいのは人により環境問題の捉え方が違っているためです。環境問題の本質を見据え、本当の豊かさとは何かを考えながら、環境問題の解決策について議論します。	吉備国際大学社会科学部教授 井勝久喜氏
3	10/4(土) 10時	岡山県における水産業の現状と課題 ～瀬戸内海はきれいになったの？豊かになったの？～	NPO法人里海づくり研究会議事 田中丈裕氏
4	12/13(土) 13時	こんなに捨てられている！ 食べられる食品 日本の食糧自給率は先進国の中でも低く、輸入に頼っている状況にも関わらず、まだまだ食べられる食品が日々たくさん捨てられています。その有効活用やそこから始まる人と人のつながりについて改めて考えてみませんか。	NPO法人フードバンク岡山 理事長・糸山智栄氏
5	1/10(土) 10時	岡山県の気候変動について(仮) 住んでいる地域の気象の特性や災害の起こるメカニズムについて、理解をすすめましょう。	岡山地方気象台職員 ※講師・テーマは新年度人事発表後確定します
6	1/24(土) 10時	PM2.5について ～国境を越える汚染物質 酸性雨、光化学スモッグ、黄砂～	岡山理科大学理学部特任教授 野上祐作氏
7	2/14(土) 13時	人間活動が地球に与える影響～環境問題の根本を考える～ 人類社会が持続するためには、[人間活動量]<[生態系の能力]が根本条件です。人間活動量をエコロジカル・フットプリントといい、その指標の考え方を説明します。	元岡山大学准教授 白井浩子氏
8	2/28(土) 10時	放射能は人の健康や環境にどのような影響を及ぼすのか ～原子力発電と放射能問題、その後の福島・今後の福島～	岡山大学名誉教授 青山勲氏

※本講座は「岡山県生涯学習大学連携講座」「岡山つながる・ひろがるESD事業」として開催します。

●会場：オルガ5階（岡山市北区奉還町1-7-7） ●時間：各2時間を予定しています

●受講料：無料 ●必ず事前にお申込みください。定数（40名）を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。

※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外での使用や第三者への開示などは行いません。

◆当日参加できない方向けに、当日資料・音声CDをおかやま環境ネットワーク会員の皆様には500円（送料込）、一般の方には1,000円（送料込）で送付します（講師の了解のない場合は実施できませんのでご了承ください）。資料送付を希望される方は、下記申込書でお申込みください（代金はお届け後、郵便局でお振り込みください）。



公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7（オルガ6階）

TEL/FAX:086-256-2565

E-mail:kankyounet@okayama.coop

..... 切り取り線

2014年度『市民のための環境講座』参加申込書

フリガ 氏名			住所										
電話					FAX								
携帯電話													
E-mail													
申込日に○を	6/21	9/6	10/4	12/13	1/10	1/24	2/14	2/28					
資料送付希望日に○を	6/21	9/6	10/4	12/13	1/10	無	1/24	2/14	2/28				



公益財団法人おかやま環境ネットワーク

『助成活動報告会』のご案内

～県下の環境と環境に関わる活動について、語り、考えましょう!～

岡山で環境活動を行う団体や個人が集い、日ごろの活動紹介や、相互のネットワーク形成をとおり、地域での環境活動がより広がる機会になることをめざし開催します。

- ◆日時：5月31日(土) 13時～16時
- ◆会場：オルガ5階スカーレット(岡山市北区奉還町1-7-7)
- ◆定数：50名
- ◆参加費：無料 ※資料の準備の都合上、要申込
- ◆申込：5月23日(金)までに下記「参加申込書」、または「参加申込書」の内容をご連絡ください。
- ◆スケジュール(予定) 12:30～受付
 - ・13:00～ 開会挨拶
 - ・13:10～ 2013年度助成活動報告(前半4団体)・休憩・助成活動報告(後半4団体)
 - ・15:00～ 交流 ※コーディネーター：青山勲代表理事
質疑応答と各団体へおかやま環境ネットワーク役員から感想
 - ・16:00 終了

◆助成活動報告団体一覧

	団体名	企画名
1	里海づくり研究会議	日生の海の歴史が育んだ地域知にもとづく里海像の設計
2	おかやまコープ倉敷エリア	瀬戸内の海を知ろう～漁業を通して～
3	あかいわ美土里の和	里山再生プロジェクト
4	千年の森づくりグループ	森・棚田・竹林の維持・保全活動、感謝のつどい開催
5	旭川源流大学実行委員会	旭川源流大学 旭川まるごと探検隊
6	岡山野生生物調査会	ワイルドライフ ウォッチング
7	真庭ハンザキ調査団	まだまだ調べる 真庭のハンザキ
8	おかやまエコマインドネットワーク	自然エネルギーってなんだ?ワークショップ

※2015年度助成事業への応募を検討されている皆様は是非ご参加ください。

※2013・2014年度助成を受けられている団体は必ずご参加ください(応募要件です)。

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 (オルガ6階)

Tel/Fax: 086-256-2565 E-mail: kankyounet@okayama.coop

※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などを行いません。

..... 切り取り線

助成活動報告会 参加申込書

フリガ 氏名		電話 番号	
住所	(〒 -)		
E-mail		団体 名	※個人の方は記入不要です

公益財団法人おかやま環境ネットワーク2014年度第1・2・3・4回体験プログラム(岡山つながる・ひろがるESD事業)

『アマモ再生教室』 ～アマモの里親になってみよう!～

1. 目的

水質を浄化する作用があるとされる「アマモ」です。アマモは海の汚れの原因となる窒素やリンを吸収します。また、密集するアマモ場になると、海洋生物の産卵場や稚魚の成育場所にもなります。そのアマモの役割や自然環境について学び、海への関心を深めることを目的に「アマモの再生教室」を取り組みます。



2. 開催要項

	日	時間	会場	内容
1	6月6日(金)	10～12時	見崎公会堂	現地取組学習会(森中氏)、並びに現地観察会
2	8月8日(金)	10～12時	見崎公会堂	種子採集作業
3	10月17日(金)	10～12時	見崎公会堂	種子播種ポット植付⇒育苗キットの製作体験
4	1月23日(金)	6～9時	見崎公会堂	苗の定植

※アマモの育苗年間の流れー6月:種採取、10月:ポットに植付⇒家庭に持ち帰り育成(観察)、1月:ポット定植

- ・講師:森中憲次氏(神島見崎里浜づくり代表)
- ・定員:30名(応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先します。参加の可否は、郵送にてご連絡します。参加予定者には詳しいご案内文を郵送します。)
- ・参加費:1人500円(年齢関係無)、おかやま環境ネットワーク個人会員は無料
- ・申込み:各回2週間前までに、おかやま環境ネットワークへ下記「参加申込書」でお申込みください。
- ・主催:(公財)おかやま環境ネットワーク、生活協同組合おかやまコープ井笠エリア
- ・協力:神島見崎里浜づくり、日本カブトガニを守る会



種子播種ポット植付



苗の定植



現地観察会

◆お申込・お問合せは

公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 (オルガ6階)
Tel/Fax:086-256-2565 E-mail:kankyounet@okayama.coop
詳しくはHPをご覧ください。 <http://www.okayama.coop/kankyounet/>
※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などは行いません。



..... 切り取り線

体験プログラム『アマモ再生教室』 参加申込書

参加希望番号に「○」をしてください		①6月6日(金)	②8月8日(金)	③10月17日(金)	④1月23日(金)	
代表者	フリガナ氏名	年齢 歳		電話番号		
	おかやま環境ネットワークの個人会員ですか				はい・いいえ	
	住所	(〒 -)				
フリガナ氏名	年齢 歳	フリガナ氏名	年齢 歳			

公益財団法人おかやま環境ネットワーク2014年度第5回体験プログラム(岡山つながる・ひろがるESD事業)

『高島干潟 いきもの観察会』

～干潟の役割とその大切さを実感しよう!～

新岡山港のすぐ南にある高島は、豊かな児島湾のシンボルとして古くから市民に親しまれてきましたが、その高島の東側には、潮が引くと広大な干潟が出現します。

干潟に棲むいきものたちが、汚れた水を浄化する作用を担っています。干潟を失うことは、必然的に、その浄化作用を失うことを意味します。この海辺教室では、実際に干潟の中に入り、そこに棲むいきものたちと触れ合うことで、五感を通して豊かな「多様性」を感じるとともに、自然環境について考え、姿を消しつつある「干潟の役割」や「水の中の命のつながり」について考えます!

一見何も無いように見える干潟ですが、実はいきものがいっぱいいます。干潟に触れられるチャンスです。ぜひご参加ください!

◆開催要項 ※参加者には別途詳しい案内、集合場所の地図を郵送します。

- ①. 日程: 8月9日(土) ※小雨決行、警報発令時は中止します。
 ・集合 13:00 新岡山港・両備運輸棧橋集合(12:45～受付)
 ・解散 17:00予定 ⇒前後する場合があります
- ②. 場所: 児島湾高島干潟(新岡山港すぐ南の小島)
 集合場所: 新岡山港・両備運輸棧橋集合
- ③. 内容: 干潟のいきもの観察
- ④. 講師: 斉藤達昭氏(岡山理科大学理学部准教授)、吉鷹一郎氏(関西高校教諭)
- ⑤. 対象: 小学3年生以上の方(小中学生は保護者同伴)、大人のみ参加は可
- ⑥. 定員: 40名
 (応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先。参加可否は郵送にてご連絡します)
- ⑦. 参加費: 1人500円(渡船代として、おかやま環境ネットワーク個人会員は無料(年会費2,000円)、お申込後のキャンセルはご遠慮ください)
- ⑧. 持ち物・服装: 飲み物、タオル、長袖・長ズボン、帽子、汚れてもよい靴、靴下、履き替え用の靴、軍手
- ⑨. 申込: 7月25日(金)までにおかやま環境ネットワークへ下記「参加申込書」でお申込みください。
- ⑩. 主催: 旭川源流大学実行委員会、公益財団法人おかやま環境ネットワーク
 協力: 岡山理科大学環境教育地域支援研究会、岡山野生生物調査会



◆お申込・お問合せは

公益財団法人おかやま環境ネットワーク
 700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 (オルガ6階)
 Tel・Fax: 086-256-2565
 E-mail: kankyounet@okayama.coop

※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外での使用や第三者への開示などには行いません。

切り取り線

『高島干潟 いきもの観察会』 参加申込書

代表者	フリガ 氏名	年齢	歳	電話 番号			
	おかやま環境ネットワークの個人会員ですか				はい・いいえ		
	住所	(〒 -)					
フリガ 氏名		年齢	歳	フリガ 氏名		年齢	歳
フリガ 氏名		年齢	歳	フリガ 氏名		年齢	歳

2014年度第6回体験プログラム・海辺の生き物観察(岡山つながる・ひろがるESD事業)



『海ホタル夜間観察会』

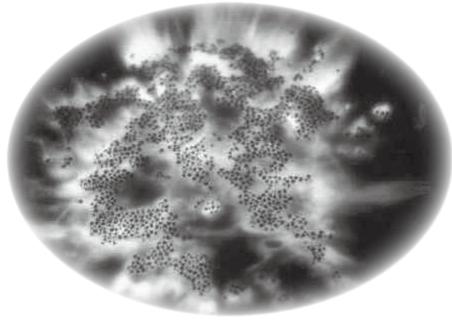
～青く神秘的な色で発光するウミボタル きれいな海辺環境を示す生物の一つです～

自然にふれ、楽しみながら環境のことを考えるきっかけをつくることを目的に開催します。
いきもののいのちの大切さ、自然環境のすばらしさを実感し、自然の役割や海の現状など、くらしと自然環境の密接な関わりを理解しましょう! 奮ってご参加ください!!

参加者募集

お申し込みいただいた方には、別途詳細案内を郵送します。

- ◆日時：7月12日(土) 18時～23時30分
- ◆行先：倉敷市大浜海岸(鷺羽山下電ホテル前)
- ◆内容：海ホタルなど夜の海辺生物観察
- ◆講師：吉鷹一郎氏(関西高校教諭)
- ◆定員：40名 ※全員バスで移動します
※応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先します。参加の可否は郵送にてご連絡します(当選者には詳細案内を郵送します)。
- ◆申込：6月20日(金)までに下記参加申込書を郵送、ファックス、Eメールのいずれかでお申込ください。申込後のキャンセルはご遠慮ください。
- ◆応募資格：小学4年生以上の方、未成年者は保護者同伴、大人のみ参加可
- ◆参加費：1人500円(年齢関係無)、おかやま環境ネットワーク個人会員とその同居家族は無料、年会費2,000円
- ◆主催：公益財団法人おかやま環境ネットワーク
生活協同組合おかやまコープ倉敷エリア
協力：岡山野生生物調査会
- ◆共催：岡山県消費者団体連絡協議会、岡山県生活協同組合連合会(申請中)



- ◆スケジュール予定
※交通事情等により時間は前後する場合がありますので、予めご了承ください。
・18:15 オルガ前出発(北区奉還町1-7-7) 岡山駅西口から北へ徒歩約5分
・19:15 コープ倉敷北出発
・20:00 現地観察会
・21:45 現地出発
・22:30 コープ倉敷
・22:30 オルガ着(予定)
- ◆持ち物：ライト(懐中電気)、磯歩きできる靴、持っている人はルーペ(虫めがね)

◆お申込・お問合せは
公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)
Tel・Fax: 086-256-2565 E-mail: kankyounet@okayama.coop
※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などには行いません。



切り取り線 『海ホタル夜間観察会』 参加申込書

代表者	フリガ 氏名	年齢	歳	電話 番号			
	おかやま環境ネットワークの個人会員ですか				はい・いいえ		
	住所	(〒 -)					
フリガ 氏名		年齢	歳	フリガ 氏名		年齢	歳
フリガ 氏名		年齢	歳	フリガ 氏名		年齢	歳

公益財団法人おかやま環境ネットワーク2014年度第7回体験プログラム(岡山つながる・ひろがるESD事業)

『旭川まるごと探検隊 龍宮岩・毛無山 自然観察会』

オドロキの自然環境が残る旭川源流、専門家の楽しい解説を聞きながらの自然観察をします。
新庄川の清流で浸食された雪白の石灰岩が奇岩を創り出し、その見た目がまるで「龍宮」をイメージさせる「龍宮岩」や、「水源の森百選 毛無山ブナ林」をウォーキングしながら自然を観察します。

参加者募集

お申しいただいた方には、別途詳細案内を郵送します。



- ◆日時：8月23日(土) 8時～18時解散予定
- ◆行先：真庭市神代鬼の穴「龍宮岩」、毛無山
- ◆内容：自然観察など
- ◆講師：齊藤達昭氏・岡山理科大学理学部准教授
吉鷹一郎氏(関西高校教諭)
- ◆定員：40名 ※全員バスで移動します
※応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先します。参加の可否は郵送にてご連絡します(当選者には詳細案内を郵送します)。
- ◆申込：8月15日(金)までに下記参加申込書を郵送、ファックス、Eメールのいずれかでお申してください。申込後のキャンセルはご遠慮ください。
- ◆応募資格：小学3年生以上の方、未成年者は保護者同伴、大人のみ参加可、野外活動可能な健康な方。ウォーキングに適した服装、靴でお越しください。
- ◆参加費：1人500円(年齢関係無)、おかやま環境ネットワーク個人会員とその同居家族は無料、年会費2,000円
- ◆主催：旭川源流大学実行委員会
公益財団法人おかやま環境ネットワーク
生活協同組合おかやまコープ美作エリア

- ◆スケジュール予定
※交通事情等により時間は前後する場合がありますので、予めご了承ください。
- ◆集合場所：岡山駅西口オルガビル前
※全員切バスで移動します。自家用車での参加はできません。
・8:00 オルガ前出発(北区奉還町1-7-7)岡山駅西口から北へ徒歩約5分
・18:00 オルガ着(予定)
- ◆持ち物：川と林に入れる格好、水に入れる靴(サンダル不可)、帽子、昼食、水筒、雨具、筆記用具
- ◆雨天時の対応について 基本的に雨天でも実施致しますが、実施困難な荒天の場合は中止します。



◆お申込・お問合せは

公益財団法人おかやま環境ネットワーク 〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 (オルガ6階)
Tel・Fax:086-256-2565 E-mail:kankyounet@okayama.coop
※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などは行いません。

『旭川まるごと探検隊』 参加申込書

代表者	フリガ 氏名	年 齢	歳	電話 番号			
	おかやま環境ネットワークの個人会員ですか				はい・いいえ		
	住所	(〒 -)					
	フリガ 氏名	年 齢	歳	フリガ 氏名	年 齢	歳	
	フリガ 氏名	年 齢	歳	フリガ 氏名	年 齢	歳	

